

こんにちは！明野地域包括支援センターです😊
春の日差しを感じる季節となりましたが、皆さまお変わりなくお過ごしですか？
今回の明野タイムズは、2/28に行われた音羽町の皆さんとの会議のご報告ともしもシート、避難所介護体験についてです。
ぜひご覧ください🌸

音羽町のみなさんありがとうございました♡

石川ケアマネージャー

2月28日 音羽町福祉総合会館で町内会役員および民生委員、地域住民32名と市役所や社会福祉協議会の職員も参加し総勢50名の皆さんが『地域を知ろう』をテーマに参加して頂き、圏域会議を開催することができました。

内容は、町内外の買い物・ATM・病院などの利用場所や移動する為の手段をグループで話し合いました。皆さん、かなり盛り上がり立ち上がって話す方や新たなサービス案を提案する方などと積極的に地域のことを笑顔で語っていました。



今回、話し合った内容は、明野地域包括支援センターで内容をまとめ、『健康を維持しながら住み慣れた地域で住民が明るく・楽しく生活できる』ように地域作りに活かし、地域住民・町内会・包括・社会福祉協議会・市役所などと連携しながら、新たな社会資源に取り組む行動が必要です。

最後になりますが、音羽町住民の皆さん、また機会がありましたら是非参加して下さいね！



終活してみませんか？

もしもの時に備えて、自分自身の病気や亡くなった後の連絡先・お墓等について『もしもシート』にまとめてみませんか？
近年、同居しているご家族が亡くなったことでひとり暮らしになったりお子さんなどが遠方にいることで交流機会が少ないケースが増えています。

仮にご家族がご健在でも自分自身が急に体調を崩して入院した時自分はこうして欲しい等のご希望や必要な情報を家族間で共有できていますか？

もしもの時のことを考え、『もしもシート』に自分自身の情報をまとめておくことで、ご家族や周囲の方がスムーズに対応できるようになると考えています。

♡ 『もしもシート』の配布先
市役所介護福祉課・明野地域包括支援センターで配付。
ご興味のある方はご連絡ください！

☎ 介護福祉課：32-6347 明野包括：53-4165



2月に住吉・泉町サロンでの講話の様子



in 明野中学校

避難所介護体験

7月に実施した防災学習を深めることを目的に、3月18日 明野中学校1年生を対象に災害時に避難所でできることとして車いすの操作体験や段差の昇り降りをマットを使用し幅を80cmと100cmで設置し実際移動体験をしました。

また避難所である体育館トイレは車いすが使えるか？実際車いすですぐにトイレに入れるかを体験しました。初めて車いすの操作を行う生徒たちもおり、スピード調整や幅や段差を考えての移動の難しさ実際車いすに乗っている人の気持ちを体験できていたと思います。

避難所を想定したトイレの設置についてはポータブルトイレを使用し環境や配置などを考えながら男子女子に分かれ行いましたが、男子は機能性・女子はプライバシーを重視するような配慮がみられました。

中学生だからできること・考えられることを実際に自身で考え体験することができました。この体験を通じ学生が主体的に避難所での困った人を助ける気持ちを持つことで避難所で生活している人たちの助けになる事を忘れずにできることを積極的に行動していただければ日常生活においても役立つ事と思います。



介護・福祉・医療の相談窓口 [65歳以上]

明野地域包括支援センター

明野地域 { 明野新町、泉町、音羽町、三光町
新明町、住吉町、字高丘 (55,56,60除く)
日の出町、双葉町、美園町、柳町

苫小牧市明野新町5丁目2番4号

お気軽にご相談下さい

☎ 0144-53-4165

苫小牧の地域情報サイト「まいぶれ」や明野地域包括支援センターの法人である苫小牧東病院のホームページにも明野地域包括支援センターの活動や仕事内容を掲載していますのでぜひご覧いただけます！
それでは次回の明野タイムズでお会いしましょう！

苫小牧の地域情報サイト「まいぶれ」

苫小牧東病院のホームページ

